

# 原発いらい

## 山ロネットワーク

2023年9月の報告

核のゴミはいらない!

423号

### 次の集り

2023年10月8日(日) 13:30~

周南市役所シビック交流室 6

中間貯蔵施設について、上関町で2つの講演会があります。

2023年10月9日(月・祝) 13:30~15:30

上関町総合文化センター

講師 越智 秀二氏

国土問題 研究会 公理理事  
日本地質学会 会長

(チラシと同封してあり)

2023年10月22日(日) 13:30~15:30

上関町総合文化センター

講師 末田 一秀氏

反原発新聞 編集長

(チラシはまたです)

主催・原発に反対する上関町民の会・上関原発を建てやせない祝島島民の会・上関の自然を守る会  
原水優待禁止山口県民会議 0839-924-8145

10月22日(日)

使用済核燃料の

行き場はないぞ!・全国集会

周電本店前

15時~

伊方集会

10時 原方原発ゲート前

原発さよなら回廊ネットワー

電 080-5662-6207

電 090-1965-7102

(9/13 中口)

## 上関周辺首長は困惑 中間貯蔵計画 影響懸念広がる

### 中間貯蔵施設を巡る上関町の周辺市町の首長見解

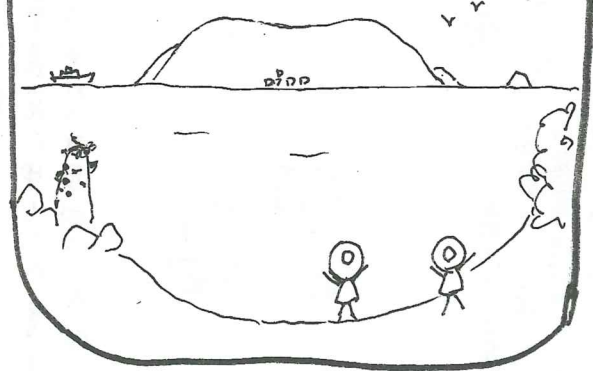
岩国市	福田良彦 市長	近隣市町の住民の安心安全が担保されておらず、率直に賛成とは言えない (8月21日記者会見)
柳井市	井原健太郎 市長	(上関町に)周辺への事前の配慮もあってよかったのでは。国、中電からの一方的な説明ではなく、疑問を出し尽くし、安全の限界を見極めたい (9月6日市議会一般質問)
光市	市川照 市長	市民の声に耳を傾け、市民の安全安心の確保を念頭に置きながら、注意深く経過を見守っていく (12日市議会一般質問)
下松市	国井益雄 市長	国、事業者から説明を受けていない。市民の安全安心が確保されるか注視していきたい (12日市議会一般質問)
周南市	藤井律子 市長	国や県、周辺自治体の動向を注視する。市民の不安が払拭できるよう適切な対応をする (12日市議会一般質問)
周防大島町	藤本浄孝 町長	町民の安全安心の確保に努める責務があり、動向を注視し適切に対応する (1日町議会行政報告)
田布施町	東浩二 町長	情報が無い。周辺のイメージ低下は避けられず、現時点でメリットはないと考える。地域振興を基に話が進み、順番が逆 (7日町議会一般質問)
平生町	浅本邦裕 町長	周辺の住民に寄り添った丁寧な対応を国、県、中電に求める。将来にわたってまちづくりに大きな影響があると危惧する (8日町議会一般質問)

代表者 小中 達  
〒742-1513 山口県 熊毛郡 田布施町 麻部 2208  
Tel, FAX 0820-55-6291  
振込口座 (年会費 2000円)  
(郵) 01590-5-27469  
口座名「原発いらい/山ロネットワーク」  
作製・印刷・発送  
周防灘の自然を守る会  
三浦 翠 レンパース



## 田の浦'ピクニック & ビーチクリーン

2023.9月30日(日) 11:00~  
雨天の場合 10月5日(水)  
弁当、水筒、ぼうし、手袋を忘れないぞ!  
連絡先 原 真紀 さん 070-5309-1032  
河本 文江さん 090-8063-4785



申し入れ

●9月6日(水)上岡原発を建てさせない山口県民連絡会(113月の大集会とする会)の手務局で県への申し入れと記者会見。

申し入れ書です。↓⑥⑦

この日は、県の担当者がお不在のため改めて22日に申し入れに行きました。

●9月12日(火)地元2団体と原水禁と原発

県民会議と原発いらん、山パネットワーグで山パネットワーグの中電本社に申し入れ。

申し入れ書です。↓⑧

・祝島島民の会は中電には行きません。

話を聞いた中で中電が「理解いたさない」と言うので。

●9月14日(木)地元3団体と原水禁と原発

いらん、山パネットワーグ、山口県に申し入れ

申し入れ書です。↓⑨

●9月22日(金)6日にできなかった県とのやりとり

その内容です。



9月22日、上岡原発を建てさせない山口県民連絡会の県とのやりとり。

山口県が言った主なこと

●上岡町長が、中電に町の振興策について相談したので、中電が上岡町に示した計画であって、県は関係ない。

●上岡町が調査を受入れたので、上岡町には4億円の交付金が出る。

同時に県にも同額の交付金が出るが、知事はそれは受取らないと記者会見で言ったので受取らない。もし、上岡町が建設を決定したら、2年間県にも上岡町にも9億円の交付金が出る。それを県が受取るかどうかは今のところ未定。

●核燃料サイクルについては国の責任においてやられるもので、県としてまわすことはない。

●今は調査の段階でまだ建設されるかは未定。どんなものができるかわからないので質問に答えようがない。

●私たちが言ったこと

●どんなものができるかわからないと言っても大層の放射能物質が持ちこまれることは確かなので、危険

●「上岡(原発)いらんやね光」下松市民の会」の共同代表3人は8月21日、光市長宛に申し入れ書を提出。中間貯蔵施設の受け入れ反対を表明するよう求めた。



「受け入れ反対表明を」

9/5 中岡貯蔵施設で県に5団体

中国電力が上岡町に建設を検討している使用済み核燃料の中間貯蔵施設と上岡原発の建設計画を巡り、上岡原発を建てさせない祝島島民の会など県内5団体は14日、県に

対し、中間貯蔵施設の受け入れ反対の表明などを求める申し入れをした。

メンバーたち約20人が県庁を訪問。同会の清水敏保代表(68)が産業労働部の鈴森和則理事に申し入れ書を手渡した。中間貯蔵施設の受け入れ反対の表明▽中電への上岡原発建設計画の白紙撤回の要請▽国や電力会社への自然エネルギーなどの推進の要請の3点を求め

た。鈴森理事は「中間貯蔵施設については今は調査段階で反対表明は考えていない。原発建設は中電が判断すべきで白紙撤回の要請は考えていない。エネルギー源の利用は国で判断されるべきだ」と答えた。メンバーは「県民の命や暮らしを守る上、知事は調査段階から意見を表明すべきだ」と訴えた。

清水代表は「また町民が分断される。金ではなく、町民がまともに住めない」と報道陣に話した。(山下美波)



申し入れ書を鈴森理事(手前左)に手渡す清水代表

なことはわかっている。

それに対して県知事はなぜダメと言わないのか。

●核燃料サイクルは国の責任と言っても大層の放射能物質が持ち込まれるのは上岡町で被害者になるのは私たち県民。なぜそんなよと事のものがある態度なのか。

●上岡町は1億4千万円で山口県の安心安全を売りに出そうとしているのに、県は何もしないのか。

●200億円の増収増益があったらと肩を叩いているが、その一部で、もって上岡町を助けたらどうなのか。

●たった1億4千万円の交付金のために上岡町にこんな悪税をさせるなんて山口県の恥だ。

●上岡町が県には何の相談もしなかったのは県が信用されたいというんじゃないのか。

●県知事は、このくらい場にも顔を出して、県民の意見を聞き、自らの考えを話すべき。

●福井県知事がいやがるものを山口県は受入れるのか。●ご存知の通り上岡町をふくめて、瀬戸内海は自然エネルギーの宝庫です。

●観光、移住など、限りない可能性を秘めているところなので、核のゴミを持ち込ませぬのはなく、この自然を生かしていくような県の積極的な施策を望みます。

●参加地域 岩口、田布施、光、下松、周南、宇部

●小中代表より

中間貯蔵施設の問題が急浮上し、大変なことになりました。

8月26日に上関町で行った「中間貯蔵施設とは」という伊藤美幸さんの講演にはゆ名が集り、会場は満杯にぼつ。これからの力になりました。

さういう関心の高まりを反映して平佐、田布施、岩口、柳井など周南市長、町長が次々に中間貯蔵施設に反対する意見を述べています。

世論はこの計画に強く反対しています。

そのため上関町長や中電は反対の声を盛上げる前に一気に決めてしまおうとしているように見える。

これはまさに県民重視のやり方で、一部の政治者だけで話し合って山口県に押しつけるつもりがやり方です。

山陽小野田の宇宙監視リーダー基地がつくられたのも、岩口が東洋一の基地になったのもそうです。県民が知らないうちにどんくおかしな事がやられていく。

今度こそ同じ手法は許さないといい勢いでやっています。

●この時、平岡秀夫さん(元衆議院議員、出石(国市出身)が来場。前県議の戸倉たか子さんと共に。

次の衆議院選挙から選挙区割が変わって、周南市も2区になりました。

●平岡秀夫さんの話

「200年に、もと原発いらん、山口ネットワーク代表の武重登美子に呼ばれて、面接試験を受けました。その時にはまだ原発についてよく知ってはいませんでした。」

管内閣の時福島が事故が起きました。

私は総務副大臣をしていまして、三陸海岸に行き、郡山市では福島が原発事故で避難されている方々にもお会いしました。

津波におそわれた街は福島が原発のあとに似ていました。街がすっかり消えていました。

津波は天災です。しかし、福島が事故は人災です。原発がなければ原発事故は起きません。

それで菅政権のもとで、原発ロードマップを作るという事をやりました。

民主党政権も自民党も福島が事故を受けて、これからはもう原発はつくらないという方針になっ

ていました。ところが菅田政権は原発推進、敵基地攻撃能力保持と、政治の流れを変えてしまいました。③

これはもう黙って見てはおれない。私がやるしかない決意しました。

この前の衆議院補選選挙では原発反対を叩いて無所属で立候補しました。

今回は、市民連合の中だろを野党一本化という事で、立憲民主党から立候補する事になりましたが、公約は先回無所属で立候補した時と変わりません。

原発に反対していきます。私が当選したら、立憲民主党の政策のあやふやなところをおおといします。

中間貯蔵施設のこととは8月になるまで知りませんでした。これについては反対の人が相違に多い。これができなければ、関西電力は原発を止めなければいけない。

山口県、経産省もこの問題に加担している。西村経産大臣が大きく噛んでいる。彼は清和会です。岸信千代西も清和会です。」

(例会の報告のついで)

●次の衆院選挙では、石臼から是非平岡さんを当選させましょう。それが山口県を政治に変えることになる。金票下の力をこの2区に集めよう。

●中間貯蔵のことは、ずいぶん前からあった。反対の立場から話を出したという意見もあったが、それはしなかった。与党の政治家は誰も言っていない。それで今回中電が発表した。

●汚染水のこと。

政府は海への放流は正しいと言いつつ、続けている。テレビの報道がすべて大本営発表状態だ。

「電通」が仕切っているという情報がある。

新聞はかなうちゃんと言っている。「処理水」という言葉は使っていないが。

●中国運入権理事会からも放出見直しの勧告ー  
はんげんぼつ新聞7月号・末田一香さんの記事。

祝島島民の会の裁判のこと。

●9月21日(木)岩国支部で、オ4回

●傍聴希望者65名、傍聴席20。

●裁判長、岡田総司

●被告側弁護士5人、祝島島民の会から木村さん、橋本さん、山根さん。

●原告中電5人

10時半開廷。被告側弁護士4人が祝島漁民の漁業権について次々陳述。

「原告中電は、公有水面埋立権は他の権利の上に立つ神聖にして侵すべからざるもので、埋立工事の邪魔する者を排除する力があると思っっているようだが、それはらばう。」

海は公共用物であり、誰も自由に使えるものがある。中電が埋立、免許を得たからと言って中電がその海域を独占的に使えるものではない。

公有水面埋立免許、が出たとしても、工事の竣工までは埋立予定地海域内に水面があるかぎり、どこにも漁業権がある。

裁判のこと

祝島島民の会の裁判(オ5回)  
(岩国支部)

オ2023年11月30日(日)18時30分

伊方原発運転差止の裁判(22回)

(岩国支部)

オ2023年12月14日(木)14時

オ9月21日の祝島の裁判の報告は↓P④

オ9月14日の伊方の裁判の報告は↓P⑦

オ10月14日、伊方原発をとめる山口裁判の会の総会

光市島田ハム民館で。

本の紹介



1300円+税

オ2章

4. 裁判官はなぜかにも不公平で無責任なのか

このことは1940年の大倉院(今の最高裁)の判決にはつづりと書かれている。

漁業権漁業だけでなく、祝島のような自由漁業も、長い間続けてそれが生活を支えるものになれば、権利として成熟する。

このことは、「公共用地の取得に伴う損失補償基準」2条5項に書かれている。

自由漁業権は漁民一人一人が所有する物権(人権)であるからウタタ多数決では奪えない。」

○米沢明・最後に石森弁護士が中電に早急に明らかにするようにと、4つの質問をした。

① 原告と中間貯蔵施設は併存するのか原告は断念するのか

② 併存させる場合この土地の中で可能か。

③ 両者を併存させる場合、どちらを優先させるのか。

④ 海上ボーリングを行った場合、その結果を中間貯蔵施設建設に利用する予定かどうか。

裁判官はこの質問に「回答しない」は許されないと答えた。

9月13日上関町議会傍聴記。

10人の町議のうち30代40代の町議が3人もいて、真剣に町つくりのことを考えているというのは、とても恵まれた状況だと思う。

「原発に頼らない町つくりをしよう」と一生懸命な彼らの前に市長の町長たちは「金」のことばかり言いつつ立ちどかる。

「金」のことばかり考える人達には核物質に対する危機感も恐怖心もないようだ。東海村の施設に行くとキャスクに触ってみたいことで安全が確信できたと言うが、余りにも幼稚すぎないか。「見えないものでもあんだよ」と知りたげい。

ある議員は、「1000トン規模の中間貯蔵施設ができれば50年で300億円以上の交付金が町に入る」と堂々と取りぬきの算用。

またある議員は、「放先でたまたま「赤旗」を見たらう使用済核燃料のことを「核のゴミ」と書いていた。使用者核燃料は資源なのに、おかしなごまか」と発言。原子力ムラに完全に洗月されている。

42年間原発を推進し続けるとこうなるのか。中国電力が町の入口に事務所を構え50人近い社員を常駐させて、町民の暮らしの隅々にまで介入し続けた結果こうなるのか。このこと自体も人権侵害だと思っただけで。

西町長の表情を見ていると、時々原発に反対する人達への強い反感がのぞく。

「8月18日の朝のような事があつたら次は警察を呼ぶ」と言った。自身の強引な進め方への反省は全くないようだ。

(三浦記)

# 中間貯蔵施設「撤回を」

9/14 中ロ 上関町議会一般質問町長「考えていない」

中国電力が山口県上関町で建設を検討する使用済み核燃料の中間貯蔵施設を巡り、13日の町議会一般質問で、建設に向けた調査を容認した町の対応への発言が相次いだ。周辺市町の首長が安全性や風評被害を懸念していることについて、西町長は国や中電が各市町に説明すべきだと考えを示した。

建設に反対する町議の一人は、住民や周辺市町が懸念を示しているとして「今回の進め方は誤っていたと言わざるを得ない。冷静な議論をするためにいったん撤回を」と求めた。別の町議は、中電が上関町で計画する原発建設の賛否を巡って町



中間貯蔵施設を巡り町議（右端）の質問を聞く西町長（左端）



中間貯蔵施設の調査エリア

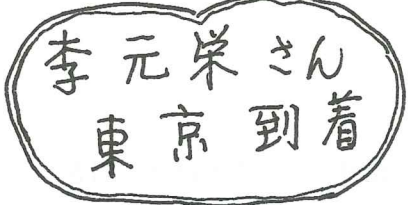
民が分断された経緯から「新たな原子力施設の誘致に抵抗感はないのか」とたたじた。西町長は「町の将来を決める大事な問題。撤回は考えていない」と答弁。周辺市町の首長の懸念は報道を通じて承知しているとした上で「説明は国や事業者がすべきものと思う」と述べた。

町の対応に理解を示す町議からは「有効な地域振興策と考えるが、町民の安心安全の確保が大前提」との意見もあった。町は、希望する住民に茨城県東海村の中間貯蔵施設を視察してもらう事業費924万円を盛り込んだ2023年度一般会

計補正予算案を町議会定例会に提出している。西町長は「建設の是非は十分な時間をかけ議論する」と説明。住民説明会を開き、国にも参加を求めた考えを示した。

この日、20席の傍聴券を求めて46人が並んだ。傍聴した人のうち、同町祝島の農業山田建夫さん

(76)は「トップダウンのやり方は原発計画の時と変わらない」と嘆き、町商工会の浜田憲昭会長(74)は「視察して勉強し、地域振興策の具体的な中身に今後注目したい」と話した。町議会は定例会最終日の14日、補正予算案を採決する。(山本祐司)



お知らせをさせていただきます  
来週11日(月)のことです。

85日間、汚染水流すな、原発やめよう、と訴えて歩き通した韓国大学教員・李元栄さんは、とうとう目的地、国会のある東京に到着されます。気高い行為に感謝し、尊敬の思いを込めて、お出迎えしたいと多くの人が思っています。

この日のプログラムが確定しました。丸一日、びっしりです。コンディションを考えて、ご参加ください。韓日市民交流の新たな第一歩が始まります。

9月11日(月) 14時～15時15分

◇1. 放射能汚染水(処理水)放流中止、日韓市民徒歩行進・東京行動： 一新橋駅西口 SL 広場～2.2km～国会議事堂 15時に衆議院第一議員会館前で提出行動【李元栄(イ・ウォニョン)さんと共に歩こう 汚染水海洋投棄開始への怒りを東電と国会に。衆議院議長に文書提出。(協力：経産省前テントひろば)】

15時15分～18時半

◇2. 9.11「経産省前テントひろば」12周年大集会 ～海を汚すな！核ゴミ増やすな！脱原発を！～ 場所：経済産業省本館前 主催：経産省前テントひろば(集会のあらし) 15:15～16:00 オープニング音楽(日音協、朴保) 第1部 放射能汚染水海洋投棄を中止せよ 16:00～17:00 韓日市民徒歩行進報告(通訳付き) 李元栄(イ・ウォニョン)、嶽野保雄 福島から 黒田節子(キャラバン)、吉沢正巳(請戸海岸) 関西から 木原壮林、ほか 第2部 テントひろばはかく闘う

17:00-18:00 ゲストスピーチ(河合弘之、鎌田慧、菅直人、福島みずほ、山崎久隆ほか) 座り込み担当1分アピール 請戸海岸テント報告 18:00-18:30 クロージング音楽(守屋真実)

19時～21時

◇～李元栄さんのお話を聴く夕べ～ 86日間を歩き終えて、おもうこと。日本人への心からのメッセージ～ 行脚を通じて李さんが感じたこと、今後への思いなど、対談形式でたっぷりとお聞きます 場所：日比谷コンベンションホール 大人500円、中高生無料 主催：李元栄氏の徒歩行進を応援する会(連絡先 090-4898-0128、080-5062-4196)

東京の皆さん、各地から駆けつけて下さった皆さんが、温かくにぎやかに迎えて下さった様子が伝って来、うれしいです！  
みなさんありがとう！  
李元栄さんありがとう！

このメールは水戸喜世子さんがno-moxに投稿されたもので。

2023年9月6日

山口県知事 村岡 嗣政 様

上関原発を建てさせない山口県民連絡会  
共同代表 清水 敏保  
共同代表 内山 新吾  
事務局長 原 康司

### 上関町での「中間貯蔵施設」の調査・建設に向けた手続きに 同意しないよう求める申し入れと質問

日頃の精勤に敬意を表します。

さて、上関町・西哲夫町長は、使用済み核燃料の中間貯蔵施設を巡る調査受け入れの提案を、8月2日に中国電力から受け、8月18日に上関町議会で同施設調査の受け入れの決定を表明しました。

西哲夫町長は、中間貯蔵施設の乾式金属キャスクは、「手で触ってもなんともなかった」と何度も強調しています。しかし、キャスクの中身は人体に有害な放射能です。東海第2原発や各地の原発サイトの視察用キャスクをもって安全と言い切るには無理があります。上関町に運び込まれるとされる使用済み核燃料は、5000トン規模と仮定すると広島型原爆17万発分の「死の灰」です。

原発関連施設への、核燃料（使用済みも含め）の運搬に伴う船舶事故、南海トラフなどの巨大地震・津波などの自然災害、加えて墜落などの航空機事故、有事の際には標的となる可能性がある等、これらの問題に対して、安全であるという実証はどこにもありません。上関町の住民にとどまらない西日本の住民が、放射能事故の危険性に怯えた生活を送らなくてはなりません。国や電力会社は「原発は安全」だと言い続けてきましたが、現実には2011年、3.11の過酷事故を招きました。未だに原発事故非常事態宣言を解除できないでいる東京電力福島第1原発での失敗を、絶対に繰り返してはなりません。

さらに核燃料サイクルの実施は、延期に延期を繰り返して実質破綻している状況であり、「最終」の貯蔵施設となる可能性が高いことは明らかです。

上関町では、41年前の1982年に原発建設計画が持ち込まれて以降、長きにわたって地元住民は原発への賛否によって分断され、人間関係を壊されてきました。

しかし、2011年の東京電力福島第1原発での事故を受けて上関現地の埋め立て工事は中断、再開の見通しも立たない中で、柏原・前町長の呼びかけで「原発に頼らないまちづくり」を進める動きが始まりました。高齢化過疎化への対応、若者の移住呼びかけ、子育て世代への空き家情報の提供等が行われ、成果が出始めています。

今回の西町長と中国電力の中間貯蔵施設建設を巡る動きは、ここ10年の新しい動きを台無しにする暴挙です。また原発・核問題にとどまらず、県民の安心・安全を考える上での県政全般の分岐点と考えます。

以上をふまえて、私たちは、上関町における中国電力・関西電力の中間貯蔵施設の調査に反対し、責職に下記の申し入れと質問をします。

記

#### 申し入れ事項

村岡山口県知事は、上関町での「中間貯蔵施設」の調査・建設に向けた手続きに同意しないでください。

#### 質問事項

1. 瀬戸内海を「死の海」にする中間貯蔵施設建設を巡る動きを村岡県知事はどのように評価・認識されていますか、お尋ねします。知事は先般、インバウンド拡大のために台湾を訪問、歓迎を受けトップセールスの役割を果たされました。瀬戸内海の真ん中に核のゴミ置き場が計画されていることをどう説明されたのでしょうか。柳井市平郡自治会が「知事は同意しないでほしい」と要望しています。山口県民として、同じ思いです。一日も早く、知事の見解を知りたく思います。
2. これまでの知事の「エネルギー問題は、国の専管事項」として沈黙・協力する姿勢は、もはや通用しない局面に来ていると考えます。今回の計画は、上関原発計画と同じく、国のエネルギー政策・核燃料サイクル政策の破綻と矛盾を、地方自治体へ転化するものだとは認識していますが、山口県知事としてのお考えをお尋ねします。

# 伊方原発運転差止裁判 第21回口頭弁論の報告

2023年9月14日 山田記

**\* 事故は起きないとする立証責任は電力会社にある**

**\* シビアアクシデントに対する収束能力を四電は持っていない**

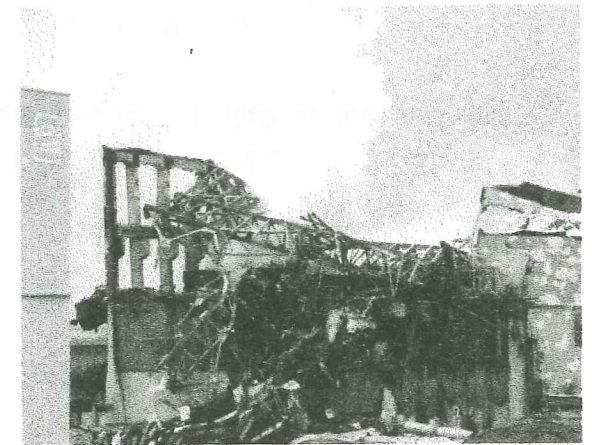
報告会に先立ち進行協議について報告があり、今後の人証（証人尋問）について的人数、回数など裁判所から問いかけがあり、検討段階と返答。次回11月30日に原告側の概略報告することに。四電はこちらの人証に対しての反論を行う程度でおそらく社員が出てくるだろうとありました。

## 松井弁護士の報告

1. 司法審査の在り方について、**原発の安全性についての立証責任は四国電力側にあり。これができなければ具体的危険の存在が推定できるということ。**
2. 原子力規制委員会が許可したからといって安全が担保されたわけではないし、審査のプロセス公開だけではない不都合な資料は相変わらず隠している。  
被告は5層の深層防護（IAEAが定めた）を守っていない。1層～4層「止める」「冷やす」「閉じ込める」が出来なかったから福島第一発電所の事故が起きたが、特に5層目の避難対策がない。（4層「閉じ込める」もない。フクイチのデブリを見よ：山田）  
被告は原子力規制委員会の許可を基準とするが、危険が予想されるすべてを網羅する基準ではない。例えば地震や火山、テロ、ミサイル攻撃などについてはまったく考慮されていない。

## 松田弁護士の報告

- 2011年3月11日のフクイチ事故の詳細について検討。**電力会社に事故収束能力はない。**
1. 住民の避難、東電の事故対応、自衛隊、アメリカ軍への要請などをみても到底電力会社が事故を収束できる能力はない。
  2. 人が近づけば数分で死に至る燃料デブリだけでも合計880トンもある。どこにあるかも明らかになっていない。40年で廃炉にする計画があるが見通しはたっていない。
  3. シビアアクシデントの収束の一義的な責任は電力会社にあるが、四電の事故収束活動プランでは到底収束できるものではなく原告への被害は明らかである。



福島第一原発の3号機原子炉建屋の外観（2011年3月16日撮影）  
福島第一原発では、1号機・3号機・4号機で「水素爆発」が起り、原子炉建屋が大きく損壊しました。この写真はまさに、水素爆発が起きた後の様子も写したものです。

3. 上関町の西哲夫町長は、「町の財政難は、町の存続を危うくしている」として、中間貯蔵施設の調査受け入れの動機を「国からの交付金を得るため」と繰り返し明言しています。いわば、「原発と核のゴミ置き場に依存した町づくり」を政策の柱にしています。これに対して、山口県として、「原発に依存しない町づくり」のために政策的援助はできないのでしょうか。原発計画に振り回されて被害を受けた自治体に対して、被害回復の振興策を講じることは、県の大切な義務ではないのでしょうか。瀬戸内広域圏の歴史と豊かな自然の中にある上関町の、県内屈指の資源を活かせるよう、県としての政策対応を求めますが、知事はどうお考えでしょうか。

※参考資料として、東京新聞8月30日付掲載の齋藤美奈子氏のコラムを添付します。  
以上

【連絡先】〒747-0035 防府市栄町 1-2-1 日本基督教団防府教会 気付上関原発を建てさせない山口県民連絡会  
電話 080-6331-0960（事務局次長 安藤）

※参考資料

23 特報 11版 2023年(令和5年)8月30日(水曜日)

### 本音のコラム

上関町で「原発」として話かきする町。山口県に下関市があるのは知っているが、下関があるならば、上関だってあるよ、もある。周防灘に面した上関町はなかなかステキな町なのだ。近世には海上交通の要衝で、北前船や朝鮮通信使の寄港地だった。丘の上には、戦国時代、村上水軍の海城域だった上関城跡が公園として整備され、史跡も多い。

（二）はまた、一九七四年のNHK朝ドラ「鳩子の海」の舞台になった町でもある。名物「鳩子でんごう」や銘菓「鳩子の海」は当時のなごり。町の賑い文句は「漁船がはれる海峡の町」「花咲へ

### 鳩子の町のこと

その上関町が使用済みの核燃料の中間貯蔵施設を受け入れる方向で動き出した。原発計画が停滞する中で、この地域振興策、二十三日の本紙特報面にある、調査審議を表明した町長の弁は「過疎化など、この町には町が存続できない」。それは違つて思います。それは違つて思います。大町長。一度施設を受け入れたら負のイメージが定着、町が誇る海も歴史もあつていなくなる。上関町は東京からのアクセスも悪くない。青園空海から海沿いに約五十キロ。レンタカーなら七十分。朝の羽田便に乗れば午前中に到着し、町歩きも食事も楽しめる。観光にはインチャルは十分あるのだ。「鳩子の海」の町を「三」にあらわされる海峡の町にしたい（文芸評論家）

2023.8.30

ウ

2023年9月14日

原発に反対する上関町民の会  
 共同代表 山根 善夫  
 共同代表 村田 喜代子  
 上関原発を建てさせない祝島島民の会  
 代表 清水 敏保  
 上関の自然を守る会  
 共同代表 高島 美登里  
 共同代表 山本 尚佳  
 原発いらん！山口ネットワーク  
 代表 小中 進  
 原水爆禁止山口県民会議  
 議長 榎本 康仁

上関町「中間貯蔵施設建設計画」及び「上関原発建設計画」に関する申し入れ

平素から県政発展のために尽力されておられることに対し敬意を表します。

さて、中国電力は8月2日、関西電力と共同で、原子力発電所から出る使用済み核燃料を一時的に保管する中間貯蔵施設について、山口県上関町に建設を検討していることを明らかにしました。

使用済み核燃料は、猛毒のプルトニウムや多種類の放射性物質を含む危険な核のゴミであり、中間貯蔵施設は、核燃料サイクル政策が破綻している状況を踏まえると、「中間」とはならず「最終」の貯蔵施設となる可能性が高いこと、そして長期にわたって安全に貯蔵できる保障がないことは明らかです。

今、必要な政策は中間貯蔵施設の建設ではありません。直ちに原発を停止し、これ以上使用済み核燃料を作り出さない政策が必要です。そして上関町では、そもそも原発建設の中止が望まれています。

知事は中間貯蔵施設建設計画、上関原発建設計画の中止を願う多くの県民がいることをしっかりと認識していただき、下記のとおり申し入れますので、特段の対応をいただくよう要請します。

なお、回答につきましては、申し入れ当日の回答に加えて、書面でも行われることを要請いたします。

申し入れ事項

1. 中間貯蔵施設建設計画について、受け入れ反対を表明すること。
2. 上関原発建設計画について、埋立やボーリング調査対象海域はナメクジウオ（環境省絶滅危惧Ⅱ類）など希少海生生物の生育場所であるので、環境保護の観点から中国電力に対して、白紙撤回を要請すること。
3. 世界の脱原発の流れに逆行し、古い原発政策に固執する国や電力会社に対して自然エネルギーや新エネルギーの推進、新しいエネルギー政策の確立と、より積極的な実行を要請こと。

県民の回答

- ① あくまで調査なりで建設されるかは未定なので何も言えない
- ② 事業者が決めること
- ③ エネルギー問題は、

祝島からは「3.11後原発に頼らぬ町づくりをめぐって町内の対立もゆるんだと思っていたのに再び対立が戻ってきた。この状況を止められるのは県民ではない。よく考えてほしいと。

中電の回答

- ① 調査検討の段階。使用済み核燃料を暫時的に置くもの。
- ② 原発は資源のない山口のエネルギーの安定供給のために進めていく。
- ③ カンムリウミスズメの調査の精度の問題はない。ナメクジウオの再調査は考えていない。

上関の会からは「原発に賛成した人の中関貯蔵には反対の人は多い」と。日本のプルトニウム所有は世界の半分を占めている。たとえ再処理工場が稼働したとしても再処理したプルトニウムは2割程度しか出ない。

⑧

2023年9月12日

中国電力株式会社  
 取締役社長 中川 賢剛 様

原発に反対する上関町民の会  
 共同代表 山根 善夫  
 共同代表 村田 喜代子  
 上関の自然を守る会  
 共同代表 高島 美登里  
 共同代表 山本 尚佳  
 原発いらん！山口ネットワーク  
 代表 小中 進  
 原水爆禁止山口県民会議  
 議長 榎本 康仁

「中間貯蔵施設建設計画」及び「上関原発建設計画」の中止を求める申し入れ

連日のご活躍に敬意を表します。

さて、貴社は8月2日、関西電力と共同で、原子力発電所から出る使用済み核燃料を一時的に保管する中間貯蔵施設について、山口県上関町に建設を検討していることを明らかにしました。

使用済み核燃料は、猛毒のプルトニウムや多種類の放射性物質を含む危険な核のゴミであり、中間貯蔵施設は、核燃料サイクル政策が破綻している状況を踏まえると、「中間」とはならず「最終」の貯蔵施設となる可能性が高いこと、そして長期にわたって安全に貯蔵できる保障がないことは明らかです。

上関町では今から41年前の1982年に原発建設計画が表面化して以降、長きに渡って地元町民は、いわゆる推進派と反対派に二分され、町内の人間関係はズタズタとなりました。しかし、2011年に起きた福島第1原発事故を受けて、上関現地で埋め立て工事は中断、再開の見通しも立たない状況となつてからは、高齢化と過疎化が進む町の将来を憂い、推進派、反対派の垣根を越えて、原発に頼らないまちづくりに協力していこうという動きも出てきています。しかし、今回の中間貯蔵施設建設計画により、再び町内に争いや対立が生まれようとしています。

もうこれ以上、いたずらに地元住民を翻弄するのをやめ、多くの国民の声、山口県民の声を尊重して、中間貯蔵施設建設計画及び上関原発建設計画を中止するよう強く求めます。

申し入れ事項

1. 中間貯蔵施設建設計画を白紙撤回すること。
2. 上関原発建設計画を白紙撤回すること。
3. 環境保護の観点から以下を要求する。
  - ①カンムリウミスズメ調査について精度の高い毎月の調査を行うこと。
  - ②ナメクジウオ生息域について現時点での再調査を行うこと。



開通する新開記事

○中間貯蔵施設をめぐり記事

- (9/15朝日)上岡町長中間貯蔵施設18日判断方針「町民置き去り」強まる反発。3団体で申し入れを。
- (8/23朝日)中間貯蔵調査のため中電が上岡町に伐採届提出。21日付。11ヶ所を、ポリリネアを行う。
- (8/25朝日)中電が町民を訪問。6つのQ&A説明。中電社員が1千人を訪問。
- (8/26朝日)中間貯蔵施設「住民の声を」平野島の自治会長ら、柳井市長に要望。
- (8/29朝日)山石口市の福井市長は本会議で、中電の中間貯蔵施設の調査について説明を求めたこと明らかに。
- (8/30朝日)中間貯蔵施設を視察へ。上岡町民、東海中電に要望。
- (8/31日経)中電の中川新社長。中間貯蔵施設は、上岡町の経済に貢献できる規模に。
- (9/3朝日)上岡中間貯蔵福井が注目。中電使用済核燃料の処理が急務に。
- (9/6朝日)原発予定地東側の0.6ヘクタール。中電上岡町中間貯蔵施設調査の伐採エリア。期間中は着工が11ヶ月。多量に地番は黒塗りにして明らかにせず。町は「法人(中電)の私有地内の場所にとりまわらぬ」と説明。理由はない」と説明。
- (9/7朝日)東海村への視察。8ヶ所規模を調整。上岡町。10日、20人が泊2日。費用は24万円。
- (9/9朝日)隣接の平生町長が危機「まろづくりに影響」。
- (9/12朝日)中間貯蔵施設視察員を審議。上岡町議会を。
- (9/13朝日)上岡周辺を市長は困惑。影響。懸念が広がる。
- (9/13日経)中間貯蔵巡り。市長「注視」。
- (9/14朝日)上岡町議会一般質問。中間貯蔵施設「撤回を」町長考えていない。
- (9/13朝日)中間貯蔵と原発計画中止求める。中電に山口県内4団体。
- (9/14朝日)国の交付金申請せず。立地可能性調査。山口知事ら方針。
- (9/15朝日)「受入れ反対表明を」中間貯蔵施設で県に5団体。
- (9/15朝日)中間貯蔵視察員を可決。上岡町議会。町民東海第2訪問へ。9/24、25、26日。町民約30人。町職員約30人。泊2日の日程で3回程度に分かれた。
- (9/16日経)登壇時の車に傷。上岡町長被害届。9/18臨時町議会に登壇の際。



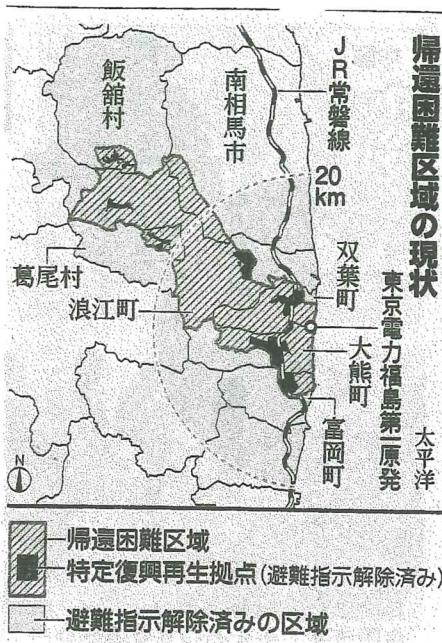
○汚染水の海洋放出をめぐり記事

- (8/23朝日)タリク30基分。今年度放出。一原発処理水の開始。香港、10都府県の水産物禁輸。中口新たな輸入規制示唆。
- (8/24朝日)処理水放出「差し止め」を漁業関係者ら。国東電提訴へ。9月9日予定。
- (8/25朝日)福島立ち直る。なかの放出。地元との合意。置き去り転換を。
- (8/25朝日)国産全水産物中口が禁輸。日本政府抗議。撤回求める。
- (8/29朝日)経団連十倉雅社会長。中口輸入停止を憂慮。処理水、深まる日中亀裂。
- (8/30朝日)日本製品の不買拡大。中国処理水放出中止迫る。
- (8/31日経)漁業者に追加反核数10億円。
- (9/1日経)農相。処理水を「汚染水」発言を撤回し謝罪。
- (9/1日経)韓国、水産支援に2億円。
- (9/1朝日)処理水放出一週間。禁輸シロク見之ぬ解決。
- (9/2朝日)放出後にトリチウム初検出。1リットル当たり10ベクレル。
- (9/5朝日)放出設備視察の福島県内知事「複雑」。
- (9/5朝日)水産支援新たに20億円。
- (9/9朝日)原発処理水放出差し止める。福島、宮城、県民ら。国と東電提訴。福島地裁に。
- (9/6朝日)ポタテやナマコ。価格下落。
- (9/12日経)原発処理水の初回放流終了。水産業支援。猴効果見直せず。中口禁輸。ポタテ卸値下落。
- (9/15朝日)「疑うことこそ科学的」。科学的に正しい主張するだけだと真の解決への道は遠のくばかり。
- (9/15朝日)日本から入港の船積載の海水。中口が採取。独自調査。
- (9/15日経)中口水産物禁輸九州に影。福岡は3割下落も。漁師養殖業者「深刻な打撃」。
- (9/16朝日)中口邦人の監視強化。処理水放出受け拘束検討の。
- (9/17朝日)香港で通関大増。検査強化。業者者に損失も。
- (8/19朝日)日本からの輸入水産物の急減。中口8月。
- (9/19朝日)宮城県。漁業支援に3億円。
- (9/19朝日)政権、反対論沈黙化へ不機嫌。汚染水と可ナショナリズム。



関連する新聞記事

- (8/24朝日)政府が入閣連署案概算要求に2兆円。
- (8/17朝日)核のごみ調査「推進」採択。村上市議会案。処分場のぐり、9宗打ワテ。
- (8/25朝日)最終処分場への考え、村民説明後に、北海道・神恵内村長、村民の意向を問う手段として住民に問う。
- (8/25朝日)気候変動対策に800億円。国交省概算要求。
- (8/29朝日)原発支援強化。経済性あてはす。再稼働にも口利負担は許さない。
- (8/29日経)高浜/号機、本格運転再開。原発国内最古。
- (8/29日経)気温・統計以来最高に。
- (8/29日経)飛行機燃料、トウモロコシ。市航を会社と農産品運送。
- (8/30日経)原子力規制委、730億円概算要求。原子力分野を研究する大学や研究機関への補助金として10億、2千万円を要求。
- (8/30朝日)「核燃料サイクル」国の責任。政府と青森県協議。宮下知事「青森県が核のごみ捨て場のよう」に振られることは絶対に許さない。
- (8/30朝日)頻発する森林火災と温暖化。危険は思惑環上の山に。
- (8/31朝日)原発60年超。審査10月。規制委決定。茶屋一人が反対。
- (8/31日経)10月電気代、全社値上げ。補助金半減。
- (9/1朝日)東電の適格性再確認へ。原子力規制委。
- (9/2日経)洋上風力。導入手続を短縮。環境相、並目及策を表明。「貼る太陽電池」も支援。
- (9/2日経)日英、次世代原発で覚書。
- (8/31朝日)居住90人進むハード整備。双葉町避難指示解除一歩。



- (9/5日経)愛媛県、核燃料税上げの条例案提出。
- (9/2朝日)原発ごみ出た上壊を再活用。IAEA「推進すべき」。住民は反対。
- (9/6朝日)大規模停電との時自前ご電力供給。マイクログリッド。
- (9/10日経)世界初の水系取引市場。独に来年開設。
- (9/12日経)重要土地180㎡。正了承。指定3回目。未単施設も。

- マイクログリッドを構築した地域
- 北海道釧路市阿寒町
  - 北海道松前町
  - 群馬県上野村
  - 千葉県いすみ市
  - 神奈川県小田原市
  - 愛知県豊橋市
  - 兵庫県豊岡市
  - 沖縄県宮古島市来間

●(9/13朝日)原発60年超法25年6月施行。政府閣議決定。

●(9/13日経)核のごみ調査採択。賛成10反対8。

●(9/14日経)2060年までにエネルギー初率5倍に。

●(9/17日経)EVインフラは充電が枯化。国内充電機前年の2.5倍。

●(9/16朝日)高浜原発2号機12年ぶりに稼働。

●(9/20朝日)鉄くず売却で売却の。福島、大熊町の復興。

●(9/20朝日)自然エネルギー。周示指針。企業対象。投資家の組織。環境悪化の防止の狙い。

●(9/20朝日)SDGs達成に危機的。国連首脳級会合。挽回へ政治宣言採択。

●(9/20日経)東南アジア。広がる再エネルギー。

●(9/19朝日)エレカミミア山口市で今日。1時間440円。

●(9/19朝日)中経連会長に中電。電力会社。

●(9/16朝日)柳井隆實所長。系列リポート。計画段階環境。

●(9/16朝日)海中航行の命。周防大島沖。シリアワテゴ。

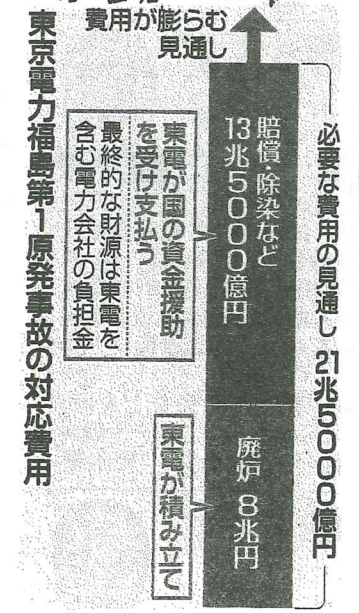
●(9/12朝日)再稼働歓迎と批判。島根2号。中電「来年8月」発表。未経験。運転員増。1員減る。

●(9/12日経)美和町。水質検査。1年連続。入。

●(9/16朝日)山口県知事。県の人。減見通し。2年早い。

●(9/19朝日)広島市。本通。ごみ。再エネ100%の定規と。

●市民団体。メンバー。30人。



会計報告

2023年9月の会計報告 — 原発いん!山口ネット7-7

'23年7月の報告の残高		238,941
収入	年会費とカンパ	121,000
支出	7月の報告 作製・送料	25,287
	8月の報告 " "	37,598
	8月例会会場費	1,400
	9月 " "	1,400
	汚染水放流中止韓日市民徒歩行運動	30,000
	8/26伊豆菜園会テラデザイン	10,000
	振込通知料	550
	振込料 切子	590
		106,825
差引残高		253,116

○カンパと年会費の振込をありがとうございました。  
 ○年会費は2000円。振込口座 01590-5-27469  
 口座名「原発いん!山口ネット7-7」 会計・三浦